

CS(化学物質過敏症)に対する点滴療法

① グルタチオン点滴療法

グルタチオンは細胞内の毒物(化学物質・金属)排泄、活性酸素の消去により、細胞を守り、活性化させる働きがある。

グルタチオンや α リポ酸は、天然キレート剤であり鉛や水銀などの重金属を神経細胞のミトコンドリアレベルでデトックスを行なう。

重金属はグルタチオンや α リポ酸の硫黄の部分(チオール基)と結合してキレート剤の中に取り込まれ解毒される。

② α リポ酸点滴療法 300~600mg

α リポ酸はフリーラジカルスカベンジャーであるだけでなく、重金属をキレートする作用を持っている。

また酸化されたグルタチオン、ビタミンC、ビタミンE、CoエンザイムQ10などを還元してリサイクルさせる作用もあり、消費されたグルタチオンを再供給することができる。

③ オゾン療法

オゾン療法によって血液中の脂質と反応したオゾンは、4HNE(4ヒドロキシ・ノネナル)という活性酸素を発生し、それは細胞質内のNrf2を核内へ移行させて、グルタチオン合成酵素を生産し、グルタチオンの産生をうながす。

この作用は数日続くため、1回のみワンショットよりも効果が持続する。

④ ビタミンC大量点滴療法

7.5g ~ 25g